

19

選手が求める野球グラブを  
専門家の視点と技でプロデュース

株式会社 JUNKEI-GLOVE

磯城郡三宅町上但馬 123 ☎0745-56-2002 https://junkei-glove.co.jp  
創業: 1946年 従業員数: 6人



ウェブページ  
を見る



動画を見る



一人ひとりにじっくり馴染む  
「その人専用のグラブ」を作ります

磯城郡三宅町では、革製品製造業が発展  
しています。とくに、野球選手が手には  
めて使うグラブにおいては、その品質の  
高さが有名です。ジュンケイグラブは、  
三宅町で自社ブランドの野球用グラブを  
開発・製造し、日本中にある野球を楽しむ  
人々から求められています。



どうやって作っているの？

1 革の確認



いろんな色に染め上げられた大きな1枚  
の牛革を広げて、グラブに適した良い部  
分だけを選別していきます。

2 裁断



使いたい箇所の革質や繊維の方向などを見極めながら、革の上に金型をセットし、裁断  
用の大きなプレス機を使っていくつもの細かいパーツに裁断します。その後、厚みの調  
整や紐を通すための穴を開けたり、品番やロゴを刻印したりしていきます。



3 縫製



細かく別れているパーツを、特殊なミ  
シンを使って一つに縫い合わせていきま  
す。この時、グラブは裏返しの状態です。

4 紐通し



裏返しになっていたグラブを表に返した  
後、開けていた穴に革製の紐を通してつ  
なぎ合わせていきます。

5 仕上げ



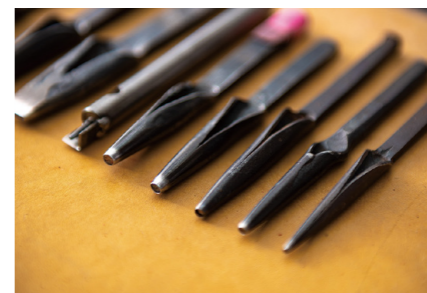
仕上げに、専用の機械を使ってグラブを  
叩きながら、よりきれいに見える形へと  
整えていきます。

どんな道具を使っているの？



金型

1枚の大きな革を、決まった形のパーツに  
切り分けていくための道具です。ジュンケ  
イグラブの工場には、形やサイズが異な  
る60種類以上の金型があります。



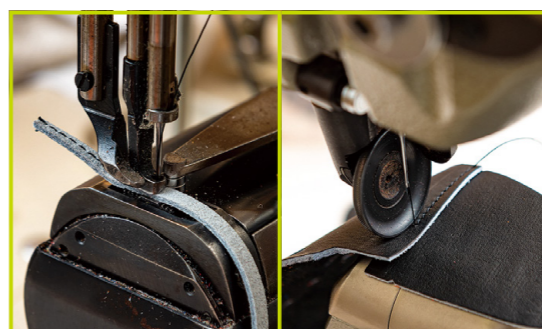
穴あけ

革製の紐を通す穴を開けるために使う道  
具です。紐にはいろんな太さや形がある  
ので、その形に合った穴を開けられるよ  
うにたくさんの種類があります。



返し竹

縫製の段階では裏返しになっているグラ  
ブを、表に返すために使う竹で作られた  
道具です。ジュンケイグラブでは、この  
道具も自分たちの手で作っています。



ミシン

大きな1枚の革から裁断したパーツは、グラブづく  
りのための特殊なミシンで縫い合わせます。縫う場  
所によって、数種類のミシンを使い分けています。



仕上げ用ハンマー

グラブの形になった製品を、よりきれい  
で使いやすい形になるよう整える、仕上  
げ作業のための機械です。

こんな人が働いています

代表取締役社長 / 吉田貴夫さん



野球業界がもっと発展するように、そし  
てこの業界がより長く存続していくため  
に、これからも職人のプライドを持って  
良いグラブを作り続けていきます。

欠かせない  
ヒミツ道具



特殊な「穴あけ」

お客様の希望に応えるため、特殊  
な形の「穴あけ」も用意しています。

この仕事の  
魅力

「お客様が必要としているものを作りたい」という思いが仕事の原  
動力です。完成したグラブを手にはめて、つつい笑顔になっ  
ているお客様を見ると、「良いグラブを作れた」という喜びがありま  
す。その時のうれしい気持ちが力になる仕事です。